

平成 30 年度第 1 回琴浦町地方創生推進会議（結果概要）

日時：平成 30 年 7 月 23 日（月）19：30～21：05
 場所：本庁舎 防災会議室

1. 参加者	長谷川委員、米原委員、佐伯委員、林原委員、和田委員、光本委員、中西委員、真山委員、井上委員、小野委員、山村委員、四門委員、大石委員、藤原委員、信組委員、馬野委員、地原コンシェルジュ、副町長、事務局 4 人						
2. 欠席者	柳沢委員、黒田委員、平野委員、山崎委員、高尾委員、丸本委員、中谷委員、宇田川委員、安谷委員、						
3. 主な意見	<p>レジュメは別紙のとおり</p> <p>平成 29 年度琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略関連事業の進捗状況 (意見)フェイスブックの活用について・・・現在フォロワー数の数が少ない。北栄町のフェイスブックは内容も充実しているため、今後の参考にされることを勧める。合わせて、地域おこし協力隊のフェイスブックも定期的に UP して、情報発信をされると効果的な活用となる。 →フェイスブックの活用は重要な情報発信ツールとなるため、他のフェイスブックを参考にしながら工夫していきます。</p> <p>琴浦町まち・ひと・しごと創生総合戦略の改訂について (意見)削除するもの項目の中の次の 3 つについてはタイムリーな話題で今こそ PR 等をしていくべき項目であるため削除すべきでない</p> <p>○和牛ブランドの確立・・・白鵬 85 などこれから PR すべきもの ○牛乳のまちことうらの PR・・・日本一の牛乳として PR するチャンス ○ことうらの海と町魚「アゴ」の活用・・・アゴの出荷量が 4t から 13t と大幅に増えている</p> <p>→これらの項目についてはひとつの品目に特化して取り組むのではなく、町の特産品として総合的に取り組むという捉え方で削除した次第です。 →この会での意見としてこれらの 3 項目は削除せず、残します。</p> <p>具体的な取り組みとして残す項目</p> <table border="1" data-bbox="491 1585 1310 1709"> <tr> <td>創る</td> <td>和牛ブランドの確立</td> </tr> <tr> <td>〃</td> <td>牛乳のまちことうらの PR</td> </tr> <tr> <td>輝く</td> <td>ことうらの海と町魚「アゴ」の活用</td> </tr> </table> <p>(意見)熱中小学校の住民への説明は？単年度か複数年度か？効果は？ →広報紙や独自の HP も立上げ、情報提供を図ります。 →交付金事業で 3 年間計画。検証の場を設けて、今後を検討していく。 →交流人口の増加。人材育成後の起業等が期待されます。</p> <p>(意見)評価として、交流人口だけにとらわれずに、人材育成の一環としてとらえ、次のステップに進むまでを総合評価してみても必要であると思う。</p>	創る	和牛ブランドの確立	〃	牛乳のまちことうらの PR	輝く	ことうらの海と町魚「アゴ」の活用
創る	和牛ブランドの確立						
〃	牛乳のまちことうらの PR						
輝く	ことうらの海と町魚「アゴ」の活用						

(意見)同じような事業として白バラ大学をしているが、土日休みではない方も多いため、出やすい日程や出やすいテーマを検討してほしい。(白バラ大学は参加者も減少傾向である・・・二の舞にならないように)

(意見)旧以西小学校でないといけないのか？

→事業の背景として廃校の利活用が原点にあります。次のような点で旧以西小学校を選定しました。

古布庄小学校・・・老朽化が進んでおり、狭い。

安田小学校・・・広すぎて、空調整備に費用がかさむ。

以西小学校・・・比較的、新しく広さも適切。木造という点が雰囲気合致した。

(意見)現時点では進捗管理もきちんとできているが、着地点(計画終了年度)を見据えて今から準備をしておいて方がいい。

--	--

--	--